

中学生ら16人が
姉妹都市アメリカ
アナコーテス市訪問

7月28日～8月4日（7泊8日）の日程で、にかほ市から姉妹都市訪問団として、中学生12名・引率4名がアメリカ・ワシントン州アナコーテス市を訪れました。団員らは、ホームステイをしながら、メジャーリーグの観戦や、サンウアン島見学、中学生同士の意見交換などを行い、アメリカの生活や文化の違いを肌で感じ、一回りも二回りも大きくなって帰国しました。



送別会にてダンスを披露するメンバー

行・程・表		
7月28日	7:30	にかほ市役所出発
	9:45	秋田空港出発
	17:00	成田空港出発
	9:50	シアトル・タコマ空港到着
7月29日	13:10	大リーグ・マリナーズ戦観戦
	10:30	ディセプションパスポートツアー
7月30日	12:30	歓迎会（ピクニックランチ）
	7月31日	フリーデー（観光、ゲーム等）
8月1日	9:00	サンウアン島観光
	12:00	ランチ
	16:00	アナコーテス高校ロボットチーム見学
8月2日	8:00	市長面会日
	8:45	シーフェラー記念公園
	11:00	生徒達の意見交換（アナコーテス中）
	12:30	ランチ
	昼食後	アート&クラフトフェスティバル
8月3日	18:00	送別会
	7:20	アナコーテス市出発
8月4日	9:30	シアトル・タコマ空港到着
	12:35	シアトル・タコマ空港出発
	14:30	成田空港到着
	20:25	秋田空港到着
	23:00	にかほ市役所到着



ホストの中学生とのラストショット

体験記

須藤 沙羅（象中2年）
ホームシックになり「早く帰りたい」と思う日もありましたが、家族と離れアメリカで過ごした1週間はとても楽しかったです。アナコーテスの皆さんと出会えてホントに良かったです。

鈴木 蓮太郎（象中2年）
日本の英語教師の発音と違って本場の英語は理解出来ませんでした。時間が経つにつれコミュニケーションをとることができて良かったと思います。

佐藤 佳奈（象中2年）
アナコーテスは夏なのに寒くて驚きました。海にも行きましたが冷たくて入れない程でした。最初で最後のアメリカになるかも知れないと思い、買い物などたくさんすることに挑戦してきました。

齋藤 海璃（象中2年）
手で食事する事や、中学生から化粧をすることなどに驚き、そしてやはり言葉に戸惑いがありました。しかしホストの優しい対応に助けられ楽しい1週間を過ごすことができました。



ボートでアナコーテスの海岸を見学



自然動物も間近で見れました



サンウアン島アメリカキャンプ地

国際交流事業に参加して

団長 齋藤 義行

8時間の空旅を終え、いよいよアメリカ大陸に上陸した一行は、迎えのホストファミリーとのあいさつを済ませ、シアトルマリナーズ観戦のためセーフボール場へ。その後、それぞれのステイ先に移動し、いざステイの開始となりました。

中学生らはホームステイ先において、ジェスチャーやコミュニケーションツールを活用し、お互いを理解しようとする努力している姿が見られました。ホストファミリーも親切に対応してくださり、フリーデーの2日間も、ショッピングや観光と楽しんでいました。

しかし、全体の行動になると日本人だけのグループになってしまう傾向も見られ、ステイ先や他の生徒たちとの会話は少なくなってしまうました。事前研修の内容や指導の徹底が不十分であったかと反省しています。来年はステイ先の生徒がにかほ市にやってきます。必ず今回の経験が生かされる場面がありますので、今度はホストとしての活躍を期待しています。

田中 胡桃（象中2年）

アメリカでは言葉が思うように通じなくて大変でしたが、電子辞書などを使って自分が思っている事を伝えました。不安もたくさんありましたが、とても楽しく充実した交流でした。それを今後の生活に活かしていきたいです。

伊藤 初花（象中2年）

スケールが大きいアメリカの文化をたくさん知ることができましたし、日本の文化も教える事ができました。来年、日本にきてくれたらもっとたくさんのお話を教えて、もっと交流ができたらと思います。

須田 紗帆（象中2年）

時差が16時間もあり、最初の2日間は大変でしたが、アナコーテスでの生活は予想以上に楽しくて充実して過ごす事ができました。今度は自分がきちんとおもてなができるように頑張りたいです。

佐々木 紘雅（象中2年）

アナコーテスは自然が美しく優しい人がたくさん住んでいる素晴らしい場所でした。ホストも優しく、自分のためだけに味噌汁を作ってくれたり親切にしてくれました。今回、学んだ事は将来役立つと思います。